

Science Communication Report

2013年11月14日

京都大学 物質－細胞統合システム拠点
科学コミュニケーショングループ (SCG)

京都大学 iCeMS、「サイエンスアゴラ」に出展

京都大学物質－細胞統合システム拠点 (iCeMS=アイセムス) は、2013年11月9-10日、日本科学未来館等において開催された「サイエンスアゴラ」に、世界トップレベル研究拠点 (WPI) プログラム枠で出展しました。iCeMS ブース『みんなで作る未来像：iCeMS 発の科学から考える』には、2日間で450名以上が訪れました。サイエンスアゴラ全体の来場者数は2日間で延べ5790名強でした (JST 調べ)。

iCeMS のブースでは、幅広い年齢層の来場者のみなさんに楽しんでいただこうと、いろいろな仕掛けをいろいろと用意していました。一部のしかけは、昨年の科学技術フェスタでも採用され好評を得ていたものです。

イベント当日のブースの様子や来場者のみなさんの作品は、特設 Facebook ページ

(<http://www.facebook.com/fest.icems>) にアップしています。当日は、フィギュア作りで弾ける笑顔を見せてくださったお子様方、また再生医療の将来について真剣なご意見をお寄せくださった方々など、iCeMS 発の萌芽的科学技术を通じ多くの皆様と交流することができました。大学側から情報を発信するだけでなく、来場者の皆様から声を聴かせていただく双方向コミュニケーションの機会となりました。



iCeMS ブース全体の様子

1. プラスティック粘土を使った、神経細胞フィギュア作り体験

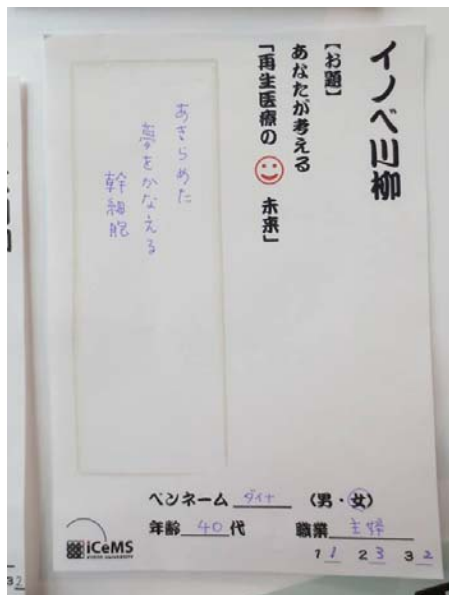
お湯につけると柔らかくなって、冷めると固まるプラスチック製の粘土を使って、『神経細胞くん』をつくってもらいました。ES/iPS 細胞を模した“からだのパーツ”と、神経細胞の特徴を模した“洋服のパーツ”を合体させると完成です。



うまく神経細胞の形を作ることができたでしょうか？

2. 未来の技術を創造する、イノベ川柳

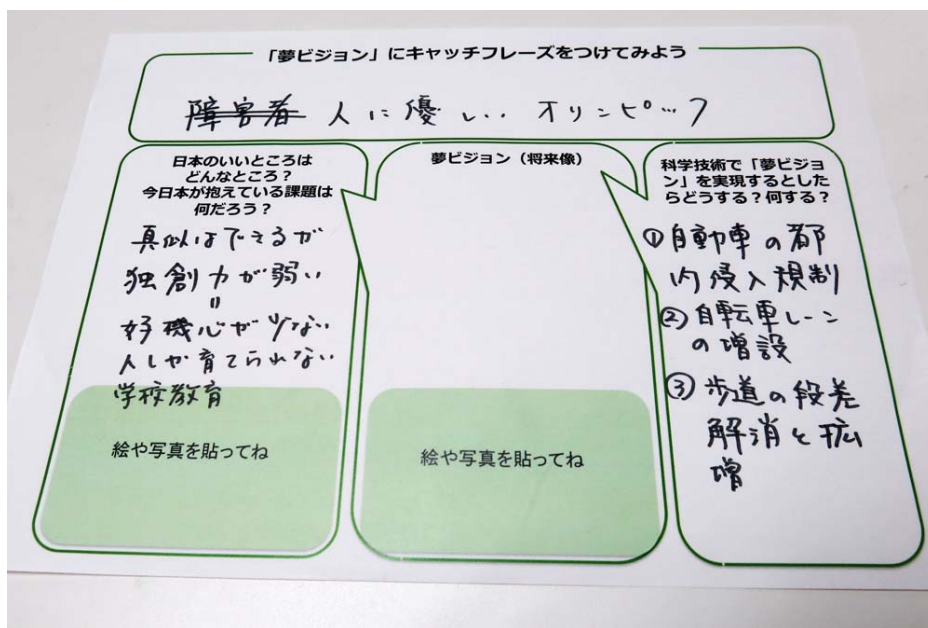
粘土やマグネットで楽しんだ後は、イノベ川柳にも挑戦していただきました。お題は2つです。「あなたが考える再生医療の◎な未来」「あなたが考える再生医療の⊖な未来」



イノベ川柳、よめた？

3. 2020年（オリンピックイヤー）の日本の夢ビジョンづくり

2020年に開催が決定した東京オリンピック。そんな2020年にはどんな日本になっていて欲しい？オリンピックイヤーに向けた夢ビジョンを描いていただきました。



来場者を書いていただいた一枚です。

4. 会場外の人も巻き込む、特設 Facebook ページ

会場にお越しただけでない遠方の方にも、会場の様子を伝えたい。もちろん、ブースに足を運んでいただいた方にも、帰ってからおうちでお楽しみいただきたい、ということで、イベント当日のブースの様子や来場者のみなさんの作品は、随時特設 Facebook ページにアップしていました。



会場でも Facebook ページを楽しめるように、
プロジェクターで投影していました。